



平成29年度平川市男女共同参画推進事業

「矢野大和口演会」を開催しました。

平川市では、平成29年3月に策定した「第3次平川市男女共同参画推進プラン」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みとして、制度や慣行の見直し、意識改革などについて、考える機会を提供するため、講演会を開催しています。

今年度は、10月18日(水曜日)午後6時30分から平川市生涯学習センター多目的ホールにおいて、大分県在住の矢野大和(やのたいわ)氏を講師に迎え、男性の家事・育児への参画をテーマに「笑って元気!!子育ては親育て」と題して講演会を開催しました。



(講師の矢野大和氏)

講演では、夫婦間の家事への異なる意識によるすれ違いの解消法やコミュニケーション術について話されました。話の中に笑いを取り入れることから、「講演」ではなく「口演」としている講師の軽快なトークに、会場は大きな笑いに包まれていました。

また、地域における教育の必要性や高齢化社会、人と人とのつながりについてなど、多岐にわたったお話をさせていただきました。

参加者の方々は、笑いの中にも人間としての本質を考えさせられる講師の話に聞き入っていました。



(講演会時の様子)

平川市では、今後も男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを実施してまいります!

「きあら(chiara)」はイタリア語で「光り輝くもの」「よろこびをもたらすもの」を意味します。平川市男女共同参画推進プランの基本理念である「互いに認め、支えあう、男女(ひと)がきらめく平川市」のとおり、輝く未来を見つめながら性別にかかわらず一人ひとりがお互いを認め、自分らしさを十分に生かせる平川市をめざしたいという願いを込めています。

「奥入瀬サミット 2017」派遣事業報告

平川市では、男女共同参画についての研修により自らを高めるとともに、他市町村からの参加者とのネットワーク形成を促すことを目的に、県などが主催する「奥入瀬サミット」に参加する市民の方に、参加に係る費用を助成しています。

今回は、今年度の参加者から提出されたレポートの一部をご紹介します。

なお、当日のプログラムなどの詳細につきましては、奥入瀬サミットのホームページ (www.oirase-summit.com) をご覧ください。

西谷 四季子さん（尾上）

奥入瀬サミット2017、テーマは『輝く女性のためのプレミアムセミナー』。今回参加に至ったきっかけは、平川市男女共同参画社会推進事業の一貫としてのサミット派遣事業公募でした。

当日は晴天に恵まれ、紅葉する景色を眺めながら、会場の『星野リゾート奥入瀬渓流ホテル』へ到着。

午後一時、オープニングセレモニーを皮切りに二日間のプログラムがいよいよスタート。

スペシャルトーク人目は、元スピードスケート長野五輪銅メダリストの岡崎朋美さん。彼女にとってのキーパーソンである、元メダリスト橋本聖子さんとの出会いときっかけと努力の結集が銅メダルへつながったと語る。その他、女性トップリーダーによるトークセッションや青森県出身の産婦人科医・病を克服した美容家・和ビガンシェフのトークと続き、様々なことを学び、深く考えさせられました。

スペシャリスト達が共通して語った理念は、自分の専門分野を通していかに人や社会のために役立たせられるか、また、仕事とプライベートの充実を両立させるといったものでした。

参加者の特徴としては県外からの参加が約半数と、非常に人気の高いサミットで、業種や立場も様々な意欲ある積極的な女性たちばかりであったことも大変刺激となりました。また、休憩時間や交流会では積極的に自己紹介し合い、情報交換しながらコミュニケーションを深めることができました。

今回のサミット参加をきっかけに、出会った方々との交流や活動を通して、人や社会のため、また平川市のために役立つ活動をしていきたいと思えます。

このような機会に参加させていただき、心から感謝いたします。ありがとうございました。



成田 美奈子さん（李平）

サミットのオープニングは岡崎朋美さんのトークでした。スケートがうまくなりたいと向上心を持ち続けた岡崎さんは、スピードスケートというハードな競技にも関わらず、5回ものオリンピック出場を果たしました。自己ベストを出したのは37歳の時。挑戦する心があれば、キャリアや年齢は関係ありませんという岡崎さんの可愛い笑顔の中にある強い意志に心を打たれました。

2日目には、青森出身の医師対馬ルリ子先生のお話がありました。若い時からヘルスケアをすると、高齢になった時に医療費がかからずに済む。健康であることも一つの社会貢献であるとお話があり、日々食べ過ぎる己を振り返り、身の引き締まる思いでした。

初対面の県外の方たち（しかも起業されている方など）とお話するのは、緊張しましたが、日常生活では経験できない興味深いものでした。

そして、朝の奥入瀬渓流ジョギングの爽快だったこと！近くにこんな素敵な場所があるなんて・・・と羨ましがられ、青森県の自然の豊かさを再認識しました。

最後に、この奥入瀬サミットに参加する機会をくださった平川市に感謝し、何か貢献できることがあれば小さな事でも協力していきたいと思いました。

